ラブリースマイル

Merry in Sapporo プロジェクトタイアップ

オリジナル自動販売機やチラシが登場するなど、春の訪れのようにみなさんをじらしながら動き出しているメリープロジェクト。ちょうどこの新聞が出るころ、大通でプレごみ拾いが行われ、たくさんの若者が参加するはずです。ごみもおしゃれに拾えば楽しいですよね。ゴールデンウイークの予定は決まりました？

ニコニコな美容師

優しい笑顔が素敵な上原千明さん（20）は、専門学校を卒業し、美容室のアシスタントとして少しずつ仕事を覚えている。「まだペースが慣れませんね」と正直なお答え。シャンプーを任されることも増えてきたが、「緊張して、お客さまに話しかける余裕はないですよ」と、持ち味であるニコニコな笑顔を発揮するにはもう少し時間がかかりそう。休日は週1回と超タイト。体に気を付けて頑張って。

コスモで店長さん

コスモの1階にある服屋さん「ジェリービーンズ」で働く菊池美樹さん（22）は、この若さで店長を務めている。北海道ドレスメーカー学院を卒業後、下着屋さんやカフェで働き、半年前に今のお店に入った。とにかく服が好きだという菊池さん。「今は狭いスペースにしては服の数が多いので、もっと見やすくして統一感を出したい」。若手店長さんの腕の見せどころだ。

公私とも絶好調

「仕事もプライベートも充実してます」。最高のメリー顔を見せてくれた牧圭介さん（23）は、ススキノの情報誌の編集者として日々取材に走り回っている。函館から札幌に出てきそう年。忙しさに追われながらも、休日には友達とスケボーやフリスビーを楽しんでいる。5月には、ストリートのスナップ写真などを集めたHPを立ち上げるという。ますます充実した日々が始まりそうだ。

バイトではもう先生？

「友達に新聞出ると言ってあるんだ」と張り切って取材に応じてくれた北海学園大2年の長澤幸さん（20）。専門の情報処理は、高校生の時、お母さんの「パソコン習ってきて教えてよ」という一言がきっかけ。先生になるため、教職課程もとるなど忙しい。飲食店でのアルバイトも2年目。4月から新入生も加わり、仕事を教える立場になった。「とってもお母さんは？」教えても、同じことをまた聞くんです」。冗談が飛び交う楽しい家族の様子が浮かんできます。

ゴールを探して

美容師歴6年の田中まりさん（25）は、大通にある美容室「FITS CORE」の副店長さんとして頑張っている。通常の業務のほかに、メイクやカットの技術を新入に教えたりと忙しい日々を送りながらも、「年々楽しさが増していく」と言う田中さん。理由を聞いたら、キラキラした声が返ってきた。「ゴールがないところかな」。

今週のメリーなひと

※このコーナーでは、イベントの仕掛け人である水谷孝次さんが撮影した写真と、イベントに協力してくれた方のメッセージを毎週紹介します。

PJスタッフから

ごみ袋にも笑顔をプリント。フリーペーパーで配布します

大きく引き延ばした女の子の袋でおしゃれにごみ拾い。大切なのは笑顔とピース（平和）です

きょう（24日）はどきどきの第1回ゴミ拾いプロジェクトでした。ゴミ拾いの報告は来週するとして、突然ですが、この赤い女の子の写真、何だと思いますか？

実はこれ、Merry in Sapporoオリジナルのゴミ袋なんです。札幌で撮影した女の子の笑顔をドット（点）で描いてみました。無機質なイメージの強いゴミ袋が、なんとかわいらしく変身です。ゴミ袋をアートにしてしまうあたり、とってもMerryらしいですよね。

ゴミ拾いプロジェクトはこのゴミ袋を使用しています。道路に笑顔がいっぱいになるMerryのゴミ拾いは、見ているだけでもなかなかおもしろいですよ。参加したほうが楽しいですけどね。

このゴミ袋はフリーペーパーにも付いていますので、実物を、覧になりたい方は四番街の協力店で28日から、ホーマック全道71店で5月上旬から配布されるフリーペーパーを、覧下さい。

ゴミ拾いプロジェクトのオリジナルグッズでもう一つ外せないものがあります。それはMerryのロゴマークをプリントしたTシャツなんです。

東京では緑だったロゴマークも、札幌では赤にチェンジ。背中にもちっちゃくロゴマークが入ってます。前から見ても後ろから見ても、一目でMerryとわかります。

このTシャツは、札幌のゴミ拾いプロジェクト参加者にプレゼントしていますので、ぜひぜひご参加ください。21日から、参加受付を開始しました！HPもしくはFAXでご応募ください。（プロジェクトスタッフ・賀集いりえ）

「Merry in Sapporo」プロジェクトとは

「まちを笑顔で埋め尽くそう！」を合い言葉に、アートディレクターの水谷孝次さんによるイベントが「Merry in Sapporo」。ちょっと元気のない札幌や北海道をMerry（幸せ）で包みます。

札幌の人々の笑顔の写真を札幌四番街商店街のいたるところに張り出したり、商店街の店員がメリーのバッジを付けて接客したり、みなさんの写真とメッセージを集めたフリーペーパーを発行したりします。

「Merryはあなたの足下から」―5月30日の「ゴミ・ゼロの日」には、全道で5万人が参加したごみ拾いイベントでフィナーレを迎えます。

詳しくはホームページwww.21merry.netをご覧ください。